予算特別委員会（全体会）　記録

開会年月日	平成31年3月20日
開会時刻	午後0時59分
散会時刻	午後1時36分
出席委員名	◎品川幸久　○野崎隆太　宮﨑　誠　久保　真 中村　功　井村貴志　上村和生　北村　勝 楠木宏彦　鈴木豊司　吉井詩子　世古　明 野口佳子　岡田善行　福井輝夫　辻　孝記 吉岡勝裕　藤原清史　小山　敏　西山則夫 浜口和久　山本正一　宿　典泰　世古口新吾 中山裕司　議長
欠席委員名	なし
署名者	宮﨑　誠　久保　真
担当書記	森田晃司
審議案件	議案第1号　平成31年度伊勢市一般会計予算外9件一括
説明員	市長　副市長　ほか関係参与

伊勢市議会

審査経過

品川委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」外９件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、討論を行い、１件ずつ採決を行った。その後、委員長報告文の作成については、正副委員長に一任することで決定した。

なお、一括10議案の起立採決の結果、「議案第１号」、「議案第４号」については賛成多数、他の８議案については、それぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、会議を閉会した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議　午後０時59分

◎品川幸久委員長

ただいまから予算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名は、当初決定のとおりであります。

それでは、「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」外９件一括を議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法については、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしくお願いをします。

それでは、審査に入ります。

各分科会から報告をお願いいたします。

最初に、産業建設分科会、上村会長からお願いいたします。

○上村和生産業建設分科会会長

報告させていただきます。

去る３月４日の予算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」外５件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、３月７日及び８日に審査を行いました。

「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第５号　平成31年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」、「議案第６号　平成31年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第７号　平成31年度伊勢市土地取得特別会計予

算」、「議案第９号　平成31年度伊勢市水道事業会計予算」及び「議案第10号　平成31年度伊勢市下水道事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、総務費においては、公共交通の再編について、路線バスの空白地区や高齢者等の市民の声を反映していくことを求める意見がありました。

労働費においては、障がい者・女性の就労支援について、市役所で横断的に連携して取り組むことを求める意見及び若年者の就労支援のため、企業説明会の充実、個人と企業とのマッチングをさらにふやす取り組みに期待する意見がありました。

農林水産業費においては、農作物のブランド化について、農業協同組合とのタイアップによる事業推進を求める意見、市が主体となり、品目をふやしていく取り組みを求める意見、多くの人が集まる場所でのＰＲを期待する意見、水利施設の防災・減災対策について、防災・農業の両方の観点から計画的に事業を進めていくことを求める意見、ポンプの長寿命化について、災害に備え足早に更新を行うことを求める意見、獣害対策について、キツネ・タヌキ等による農業被害があることから、対策への支援を求める意見、水産業の振興について、干潟を拡大するための新たな取り組みを期待する意見、漁港管理について、計画している箇所以外の問題点への対策を期待する意見がありました。

商工費においては、商店街の振興について、子どもをターゲットとした新たな企画を期待する意見、企業立地について、サテライトオフィス誘致の検討を期待する意見、また、誘致する企業規模を検討しながら慎重な産業用地の確保を求める意見、雇用の創出及び税収増のために市外からの企業誘致を期待する意見がありました。

観光費においては、外国人観光客受け入れについて、ＰＲと平行して環境整備に力を入れていくこと及び新しい取り組みで受け入れ基盤を強化していくことを期待する意見、観光協会との連携業務がふえていることから、負担金のあり方について検討を求める意見、二見浦海水浴場の管理について、年間を通じて活用できる取り組みを期待する意見、大型連休を控え、多くの観光客来訪が見込まれることから、交通渋滞等の課題への対策を期待する意見、遠くから来られる観光客に対して、効果的な情報発信をしていくことを求める意見、国民体育大会開催に向けて、宿泊等の障がい者受け入れ基盤強化及び選手等にリピーターになってもらえるよう教育委員会と連携した取り組みに期待する意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、国・県の補助金に関わらず、市の単費でも計画を進めていく検討が必要との意見、道路工事の積極的な早期発注を期待する意見、側溝の改良工事について、地域の生活環境改善及び浸水被害軽減の観点からも、引き続き要望に対して早期対応の努力を求める意見、宇治山田駅周辺道路の整備について、混雑時の課題を平成31年度中に少しでも解決していけるよう期待する意見、高向小俣線の早期完成に向けて、国・県に予算の要望をしていくことを求める意見、伊勢市駅前の再開発について、中心市街地活性化の推進に期待する意見がありました。

次に、特別会計でございますが、観光交通対策においては、連休の交通渋滞解消に向けて、誘導掲示板の有効活用を期待する意見がありました。

次に、企業会計でございますが、水道事業においては、今後、人口減少が見込まれ、

10年先の財政状況が憂慮されることから、将来に向けた対策を求める意見があり、下水道事業においては、将来的な市民負担が危惧されることから、下水道整備エリアについて、人口ビジョンに合わせて再検討を求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎品川幸久委員長

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

ないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、教育民生分科会、浜口会長、お願いいたします。

○浜口和久教育民生分科会会長

それでは、教育民生分科会から御報告を申し上げます。

去る３月４日の予算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」外４件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、３月11日に審査を行いました。

「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第４号　平成31年度伊勢市介護保険特別会計予算」については、原案どおり可決することに多数が異議ないことを御報告いたします。また、「議案第２号　平成31年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第３号　平成31年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」及び「議案第８号　平成31年度伊勢市病院事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認いたしましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見といたしましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、民生費においては、健幸ポイント事業について、市民へ医療費抑制の効果をしっかり周知するよう求める意見及び多くのデータによる十分な検証を求める意見、成年後見人の支援育成について、行政のサポートを十分に行い、多くの方に理解を得られる取り組みを期待する意見、生活困窮家庭の子どもの学習支援について、力を込めた取り組みを望む意見及び本当に必要な子どもが参加できるような事業の展開を求める意見、我が事・丸ごとの地域づくりについて、地域の全員で支える仕組みづくりに対する行政の支援を求める意見、老人クラブの活動に対する手厚い支援を求める意見、保育業務のＩＣＴ化の推進について、職員の負担軽減のためにも積極的な取り組みを求める意見及び保育現場において、しっかりとした対応ができる職員の体制づくりを求める意見、子どもの発達支援について、保護者が安心できるよう、事業の拡大を期待する意見がありました。

衛生費においては、高麗広地区の水質衛生管理について、検査の継続支援を求める意見、健康文化都市の実現について、さらなる普及活動の推進を期待する意見、風しんの流

行に備え、予防接種助成支援の長期継続を求める意見、食品ロス削減について、3010運動等を各事業者に対しても周知し、さらなる啓発の拡大を期待する意見がありました。

教育費においては、部活動指導員の配置について、教員の働き方改革を意識しつつも、子ども達の成長に重点を置くことを望む意見、小学校のプールについて、泳ぐ機会が減らないよう施設の存続を求める意見、民間プール施設の活用委託について、移動時間等の効率性も考慮し、適切な運営を求める意見、スクールカウンセラーの配置について、学校での体制を整え、強化を求める意見、二見地区小中学校の高台移転について、避難所としての活用も含め、敷地の有効活用ができるよう十分考慮した設計を求める意見、ＩＣＴ機器の教育への活用について、未来へと繋がる指導方法を求める意見及びスマートフォン等のＩＣＴ機器への依存により、学力低下とならないよう研究を求める意見、学校図書館のあり方について、最新の図書のニーズを押さえ、図書離れを招かないような対応を望む意見がありました。

なお、生活保護行政等に賛同することができないことから、一般会計に反対の意思表示をする委員がみえたことを申し添えます。

次に、特別会計でございますが、国民健康保険において、歯科検診の実施について、生活習慣病予防という観点からも市民に対する適切な周知も含め、しっかりとした取り組みを求める意見がありました。

なお、介護予防・日常生活支援総合事業に賛同することができないことから、介護保険特別会計に反対する意思表示をする委員がみえたことを申し添えます。

次に、企業会計でございますが、病院事業において、将来の減価償却費の増大を懸念するも、今回の予算を上回る歳入決算が提出されることを期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎品川幸久委員長

以上で教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、総務政策分科会、北村会長、お願いいたします。

○北村勝総務政策分科会会長

続きまして、総務政策分科会から報告させていただきます。

去る３月４日の予算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」につきまして、審査の過程並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、３月13日に審査を行いましたが、「議案第１号」中当分科会関係分については、原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げ

ます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中、当分科会関係分の歳出のうち、総務費においては、労務管理について、職員のメンタルヘルスケア向上のため、新たな対策を早期に打っていくべきという意見、職員採用試験について、行政ニーズに応えていくために人材確保の創意工夫を求める意見及び2020年4月に導入される会計年度任用職員制度について、働く人の雇用、あるいは労働条件を守る取り組みを望む意見、電算事務管理について、他の自治体を参考に電子決裁を実施していくべきという意見、ふるさと応援寄附金について、これからは返礼品ではなく、発想の競争になる、また、返礼品が伴わないガバメントクラウドファンディングの積極的な取り組みを求める意見、企画費のシティプロモーションについて、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした、共生社会ホストタウンへの取り組みに関する今後の頑張りに期待する意見、伊勢市オリジナル原付ナンバーの作成について、いろんな方に伊勢市の良さを再認識いただき、機運の醸成に繋がるような取り組みを期待する意見、定住自立圏構想について、推進事業を市民にもっとわかり易く示すことを求める意見、出会い・結婚支援について、出会い支援センターをアピールし、活動の拡大を望む意見、市民憲章の制定に関して、検討が進んでいない現状を指摘する意見、公共施設マネジメントについて、施設類型別計画が策定されたが、市長のリーダーシップの下、しっかり踏み込んだ事業が議会に示されれば、議会としても住民への調整に対処するという意見、地域自治の推進について、2020年度からのまちづくり資金の見直しだけでなく、制度そのものの検証を求める意見及び地域にまちづくり協議会と自治会の二つがあり、それぞれの団体の役割を市がしっかり示さないと、今のままでは非常に危険であるという意見、また、市民アンケートではまちづくり協議会の認知度が依然として低く、もっとそれぞれのまち協の認知度を高めていく具体的な方向性を示すことを願う意見、戸籍住民基本台帳管理事業について、マイナンバーカードの運用内容の確認とカードの紛失時のリスクを懸念する意見がありました。

消防費においては、小型動力ポンプ付積載車について、消防団員の安全面から、エアコンを装備した車両の購入計画を求める意見、地域防災力向上支援について、市民防災大学により、防災知識を持った方がふえ、地域で様々な活動ができる場を望む意見、防災基盤整備について、備蓄物資等、避難所の環境に配慮を願う意見、大規模災害時等について、避難所における災害用トイレの整備計画の検討を求める意見及び観光客が集中する場所における避難計画の周知、誘導等の研究を望む意見がありました。

次に歳入でございますが、市税について、三重県の当初予算では企業の業績が好調で、法人県民税、法人事業税とも10％を超える増収となっているが、伊勢市の法人市民税は横ばいで、矛盾した状況に疑問を投げかける意見、地方消費税交付金について、消費税が８％から10％に引き上げられると、それに伴い地方消費税も1.7％が2.2％に上がり、27市町への配分方法について、人口と従業者数により按分されることが確認されました。

また、将来的な財政見通しについて、合併特例の地方交付税の優遇措置や、合併特例債等の有利な起債の活用も制限され、今後は一般財源を確保することが非常に難しい状況になってくることから、以前は手をつけなくても良かった財政調整基金からの繰り入れが必要となり、歳出の抑制もしながら、財政調整基金の残高にも留意した財政運営を迫られ

ていることの確認がありました。
審査における主な意見としては、以上でございます。
以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎品川幸久委員長
以上で総務政策分科会会長報告は終了いたしました。
これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はありませんか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
◎品川幸久委員長
御発言もないようですのですので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑を終わります。
これをもって各分科会会長報告及び質疑を終わります。
続いて、総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑を終わります。
続いて、「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」外９件一括に対する討論を行います。討論はありませんか。
楠木委員。

○楠木宏彦委員
議案第１号以下９件の議案のうち、「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」と「議案第４号　平成31年度伊勢市介護保険特別会計予算」に反対の立場から、日本共産党として、討論を行います。
「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」についてでございますけれども、いつも問題にしておりますけども、マイナンバーの予算がありますが、これは国の施策として進められているものなので、市としても、これは当然計上せざるを得ないという側面があります。
とはいえ、私たち共産党としては、かねてからその実施の反対をしていることもあって、その反対の意志を示す意味で地方議会でも反対の立場をとらせていただきたいと考えております。
このことについて総務政策委員分科会での質疑でも明らかにされましたが、伊勢市でのマイナンバーの交付は１割程度です。このようにいま一つ普及しないのは、個人情報が一括管理されることによって、個人情報の管理について国民は不安を持っている。この一言に尽きるのではないかと思います。
国としては、国民を丸ごと管理したい。しかし国民の側は、そのことに嫌悪感持っていると、こういう姿をお示ししているんではないでしょうか。
次に、市民生活にかかわる問題について、指摘をさせていただきます。
予算案に賛成するか、反対するかという問題は、個々の問題もさることながら、全体として、こういう姿勢で、ことし１年間行政を進める。そのことについて、それでいいのか悪いのかを判断することなんだと思います。一般会計予算質疑、それから予算特別委員

会教育民生分科会でもですけれども、いくつか質問をさせていただきました。

それを通じて、あるいは市民の皆さん方から寄せられる意見を通じて、行政の一部に憲法の精神がきちんと位置づいていないのではないか。こういう感じを抱いております。もちろん基本的には、市政は憲法に基づいて運営されています。職員の皆さん方も憲法を認めて採用されている。そのもとで、障がい者施策や高齢者施策、あるいは子供や教育に関する施策、随分きめ細かく配慮していただいているとは思います。

ただ、その福利を適切に享受できていない層もあるということは事実ですし、量の上でも、まだまだ、満足できる状況になく、この予算案は、その点を力強く改善するという方向にはなっていないと考えます。

そしてまた、質の面で憲法第13条の「すべて国民は個人として尊重される」という基本的人権の精神が、行政の隅々まで浸透しているかという視角から伊勢市政を見ると、肯定するにはやや躊躇を感じるものです。

その例として、ここでは、自衛官へ募集事業におけるプライバシー保護の問題、そして生活保護行政などにおける個人を尊重するという思想の不十分さなどを指摘しておきたいと思います。このような姿勢で私、「行政を進めていっていいか」と問われれば、これはやはり賛同するわけにはいきません。

このように考えて、「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」には反対をいたします。

次に「議案第４号　平成31年度伊勢市介護保険特別会計予算」についてですけれども、総合事業において、緩和されたサービスが導入されています。

しかしながら事業所の参加率が高まっていかない。２年前とほぼ同じ水準です。介護報酬・単価設定の低さということもあって、訪問サービス、通所サービス、いずれにしても、緩和されたサービスを担っている事業所は全体の半数もありません。これは事業者の側から言えば、総合事業に対して二の足を踏んでいるということになりますし、利用者側から言えば、非常に不便になるということが言えるんだと思います。

そして、この介護保険特別会計予算について、２点目に生活支援会議について、指摘をさせていただきます。生活支援会議は、ケアマネジャーの視点だけではなく、多職種の専門職からアドバイスを受け、利用者のために、よりよいプランをつくる場と言われておりますけれども、しかしその会議の実態は利用者とその家族、そしてそれを支援するケアマネジャーにとって、つらい場になっており、利用者の意志が反映されにくい、こういう状況を当事者からお聞きをしているところです。

国の社会保障費削減方針のもと、当事者の意志、そして直接支援をしているケアマネジャーが作成するサービス利用計画に行政が過度に介入してるのではないか、と感じさせるわけです。ケアプランが、生活支援会議にかけられるので、事業所は新規の要支援のケースを引き受けたがらない。そのため、地域包括支援センターが引き受けざるを得なくなっており、手いっぱいになってしまって、最近では、なかなか対応してもらえないところから、要支援の新規依頼がぐっと減ってきていると、こういう状況をお聞きしております。

せめて生活支援会議をやめてくれたら、事業所も何とか引き受ける方向に行くのでは、このような指摘も事業所からされております。

平成31年度の予算案も、このようなこれまで進められてきた事業の方向、内容に沿った予算編成になっておりますので、この介護保険特別会計予算案に反対の立場をとらせていただきます。

以上、２本の議案に反対の意見を述べさせていただきました。

議員の皆さん方におかれましても、志を同じくしていただいて、よろしくお願いいたします。討論を終わります。

◎品川幸久委員長

他に討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

ただいまから「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」外９件一括を採決いたします。

１件ずつ採決してまいりたいと思います。

まず、「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」を採決いたします。

議案第１号について、これを原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第１号　平成31年度伊勢市一般会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第２号　平成31年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第２号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第２号　平成31年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第３号　平成31年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」を採決いたします。

議案第３号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第３号　平成31年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」は、原案どお

り可決すべしと決定いたしました。
　次に、「議案第４号　平成31年度伊勢市介護保険特別会計予算」を採決いたします。
　議案第４号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長
　起立多数と認めます。
　よって、「議案第４号　平成31年度伊勢市介護保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。
　次に、「議案第５号　平成31年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」を採決いたします。
　議案第５号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長
　起立全員と認めます。
　よって、「議案第５号　平成31年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。
　次に、「議案第６号　平成31年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」を採決いたします。
　議案第６号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長
　起立全員と認めます。
　よって、「議案第６号　平成31年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。
　次に、「議案第７号　平成31年度伊勢市土地取得特別会計予算」を採決いたします。
　議案第７号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長
　起立全員と認めます。
　よって、「議案第７号　平成31年度伊勢市土地取得特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。
　次に、「議案第８号　平成31年度伊勢市病院事業会計予算」を採決いたします。
　議案第８号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第８号　平成31年度伊勢市病院事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第９号　平成31年度伊勢市水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第９号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第９号　平成31年度伊勢市水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第10号　平成31年度伊勢市下水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第10号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第10号　平成31年度伊勢市下水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

以上で、本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、御協議いただきます案件は終わりました。

これをもちまして予算特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会　午後１時36分

上記署名する。

平成31年３月20日

委　員　長

委　　員

委　　員